

単元名 物を生かして 住みやすく

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方を理解し、手順に沿って適切に行うことができる。
 (2) 気持ちのよい住まい方について課題を見付け、その解決を目指して、整理・整頓や掃除の仕方環境に配慮した物の使い方などを考え、自分なりに工夫することができる。
 (3) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、それらについて考え、よりよく工夫しようとする

標準的な展開例

05090203_001

【準備等】整理・整頓されていない場所の写真、仕切り用の箱、ペットボトル、牛乳パック

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身の回りの生活の場を見つめる。 ★身の回りを気持ちよい場所にするために必要な仕事を見付けよう ○ p. 50の写真を見て、気付いたことや問題点を話し合う。 ○ 気持ちのよい部屋にするための改善策を考える。</p> <p>2～3 身の回りを整理・整頓する。 ★道具箱の整理・整とんをしよう ○ 整理や整頓が必要な訳を話し合う。 　・物の数がすぐに分かる。 　・必要な物がすぐに取り出せる。 ○ 整理・整頓の意味を知る。 　・必要でない物を取り除いて整えること。 　・物を使いやすい場所に置くこと。 ○ 整理・整頓の手順を知る。 ○ 整理・整頓の手順に沿って、道具箱を整理・整頓する。</p> <p>○ 整理・整頓して気付いたことを発表し、これからの生活に生かせることを話し合う。</p> <p>4～5 身の回りの汚れについて考える。 ★そうじの方法を考えたり、そうじの問題点を話し合ったりしよう ○ 掃除が必要な訳を話し合う。 　・ごみやよごれを取り除くため 　・ダニやカビが増えるから ○ 汚れ調べの方法を知り、汚れ調べをする。</p> <p>○ 記録を基に毎日の掃除の問題点や改善点について話し合う。 ○ 汚れの種類と掃除の仕方や手順について知る。 ○ グループで担当箇所を決め、掃除の方法や必要な道具について話し合う。</p> <p>6 身の回りをきれいにする。 ★よごれているところをそうじしよう ○ グループで決めた担当箇所の掃除の手順を、確認する。 ○ 分担した場所の掃除実習をする。 ○ 実習の結果を報告し合う。</p> <p>7 物を生かして快適に生活する方法を考える。 ★気持ちよく住むための計画を立てよう ○ 家庭から出るごみについて調べてまとめる。 ○ 物の処分の仕方について考える。 　・3R ○ 下級生に掃除の仕方を伝える計画を立てる。</p>	<p>・自分の生活と照らし合わせて、問題点を考えさせるとよい。 ・ p. 51のきれいな部屋の写真を参考にさせる。 【評】問題点や改善策を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・整理・整頓ができていない場所（掃除道具入れ、子ども部屋、図書室等）の写真を掲示するとよい。また、整理・整頓が災害時にも関係していることを伝える。</p> <p>・ p. 52・53の手順を掲示し、児童が確認できるようにするとよい。 ・道具箱以外の整理・整頓させる箱を用意してもよい。 【評】道具箱を整理・整頓する活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・仕切りのための、箱やペットボトル、牛乳パックなどを事前に準備しておく。 【評】生活に生かせることを話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・健康に生活するという視点から、掃除の必要性に気付かせる。</p> <p>・ p. 54「活動3 調べよう」を参考にするとよい。 【評】汚れ調べの活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・記録を基に、問題点や改善点を話し合うことを伝えておく。 【評】問題点や改善点を話し合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・調べてきた汚れに合った、掃除の仕方を考える。 【評】掃除の方法や、必要な道具の話し合い活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・グループに分かれ、学校内で行う方法もあるが、各自の家庭での課題としてもよい。 【評】計画に従って掃除をする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・事前に家庭でのごみの出し方の決まりについて調べさせておく。</p> <p>・ p. 56の「いつも確かめよう」を基に、ごみを減らす工夫について押さえる。 【評】掃除の仕方を伝える計画を立てる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】